

コーディネーターだより

令和8年3月18日 No.6

東京都立府中けやきの森学園校長 相賀 直
特別支援教育コーディネーター

昼夜の寒暖差はありますが、日中の暖かな日差しに春を感じられる日が増えてきています。今年度も、副籍交流を含めた交流および共同学習の取り組みに御協力いただき、ありがとうございました。今回は、令和7年度の交流及び共同学習「学校間交流」及び「副籍交流」の取り組みについて御報告いたします。

【報告】令和7年度 交流および共同学習「学校間交流」の取り組みについて

今年度も各学部、学年が様々な交流活動を実施しました。

交流校・交流学部	交流形態	交流内容
白糸台小学校 A部門小学部	直接交流	・自己紹介、箱運びゲーム、ダンス（1年） ・じゃんけん列車、ダンス発表（2年） ・ターゲットポッチャ（3年） ・文化祭で行ったことの発表（本校）、運動会のダンス発表（白糸台小）（4年） ・風船バレー、インクルーシブ『ソーラン節』（5年） ・誕生日ゲーム（言葉を使わないコミュニケーション）、猛獣狩りに行こう、記念撮影（6年）
府中第四小学校 B部門小学部	直接交流	・ダンス発表、パラバルーン（2、3年） ・とおoryんせゲーム、歌やダンスの発表（高学年）
府中第二中学校 A部門中学部	直接交流	・本校生徒による校内案内 ・クリアファイルの共同制作、自己紹介、ポッチャ
府中第二中学校 B部門中学部	直接交流	・自己紹介、ボール運びリレー、合唱、歌や演奏の発表
都立府中東高等学校 A部門高等部	直接交流	・生徒会によるオンライン打ち合わせ（交流内容の検討、運営について） ・交流会：ポッチャ、以心伝心ゲーム、しおり作り、記念品（クリアファイル）贈呈



2月24日には、交流教育連絡会を開催し、府中市教育委員会、交流校の先生方、各学校のPTAの皆様をお迎えして今年度の交流活動について報告しました。交流校の先生方からは、「協力したり寄り添ったり、声をかけあったりする姿がよかった。言葉を介さなくても表情から気持ちを探って、他者理解につながったと思う。」「どう話せばどう伝えればいいのか、考えるいい機会になった。インクルーシブ教育の礎になったと思う。高等部で会えることを楽しみにしている子もいる。」といった感想が寄せられました。

また、PTAの方々からは、「子ども同士と一緒に楽しんで活動している様子が素敵でよかった。」「子どもたちが生き生きとしていて、教員の方も一生懸命。どう発信して、どうかかわっていくかをPTAとしても考えていきたい。」といった感想をいただきました。



【報告】令和7年度 交流および共同学習「副籍交流」の取り組みについて

【交流報告①】A部門小学部4年★小金井市立第一小学校

体育の授業で交流しました。本校児童がいつも学校でやって慣れている「ボッチャ」を小学校の友達と一緒にしました。本校児童は、ランプ（勾配具）を使用して投球します。試合では、同じチームの友達が「〇くんこれでいい？」と方向や角度を調整する役をつとめました。ボッチャを初めてプレーした小金井第一小学校の児童もおり、パラスポーツを知り、経験する機会にもなりました。



【交流報告②】B部門中学部2年★府中市立府中第一中学校

美術の授業に参加し、「ポスタリゼーション」という技法で写真をイラスト化する活動に取り組みました。ぜひ、どんな技法かを調べてみてください。

大好きなアイドルの写真を題材にし、交流クラスの生徒さんとともに夢中になって取り組んでいました。完成した作品は交流校の展覧会にて展示されました。



【交流報告③】副籍交流を実施しての感想を御紹介します。

○最初の授業は緊張している様子でした。最後にクラスの皆がタッチをしに来てくれてうれしそうでした。家に帰ると副籍交流でやったことを家族に報告していました。（小学部）

○帰りは車いすを押すのを手伝う、と申し出てくれる友達もいました。（小学部）

○低学年の頃から知る友人の成長した姿を見られて、本人も良い刺激をもらったようです。（中学部）

○交流の機会は限られていますが、時々でも直接交流の場があることがありがたいです。顔を合わせることでしか得られない確かなやり取りがそこにあり、子ども同士のかかわりは、見ていてほっこりします。（中学部）

○勇気を出して直接交流の希望を出し、大きな行事に関わらせていただけて良い思い出ができました。（中学部）



保護者の皆様、「交流の記録」の御記入ありがとうございました。